## 経営会議の内容

件 名	大和市生涯学習推進計画について
所 管 部	文化スポーツ部
日時・場所	平成30年11月21日(水)14:05 ~ 14:35 政策会議室
出席者	市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、消防長、教育部長、議会事務局長、図書・学び交流課長
提出理由	大和市生涯学習推進計画を策定するにあたり、その内容について了承を得るため
会議経過	<ul> <li>・本計画は法定計画ではないと理解してよいか。</li> <li>(所管部)法定計画ではないが、教育委員会が法律に基づく自己点検評価を行う際、学校教育基本計画と本計画を基礎としている。</li> <li>・近年では、AIを搭載したロボットなどで学習を行うこともできるようになってきているが、社会教育委員会議においてAIを活用した生涯学習の推進に関する意見は出されたか。</li> <li>(所管部)AIに関連する意見は出ていない。近いうちにAIの活用も進むものと考えるが、本市の健康施策と照らし合わせれば、家にこもって行う学習を補助するためではなく、外に出て学習してもらうための補助として、AIを活用することになると思う。</li> <li>・計画の中に、市民の交流機会を創出する学習団体を支援する旨の記載があるが、ここでいう学習団体とはどのようなものか。</li> <li>(所管部)ダンスサークル、写真、絵手紙など、市民向けに講座を実施している団体のことを指している。</li> <li>・計画の中に、市民の居場所を提供する旨の記載があり、シリウスやボラリスなど社会教育施設が例としてあげられているが、コミュニティセンターも対象として考えているか。</li> <li>(所管部)現在のところ、コミュニティセンターのスペースの提供については、調整前の段階である。今後、調整を進めていく。</li> <li>・居場所の提供については、健康福祉部のおひとりさま施策と関係する部分であるので、今後、連携を進めていきたい。</li> <li>・施策目標Iと3を達成していく上では、AIやICTの活用は欠かせないものになると思う。例えば、市民大学について、希望が多く受講できない場合には、別の会場でも講座を視聴できる環境を整備することや、録画した講座をインターネット上で閲覧できる環境を整備することなども必要であると考えており、今後、検討していきたい。</li> <li>・生涯学習、社会教育のニーズは高まってきているので、教育委員会としても連携しながら施策を推進していきたい。</li> <li>・教育委員会での自己点検評価に活用するため、ある程度、枠組みが決まってしまう部分もあろうかと思うが、AIの活用については、引き続き検討をしておいてほしい。</li> </ul>

	<ul> <li>・新たに実施する健康都市大学の内容を踏まえ、個別目標やめざす姿の部分で、「教え学びあう」という言葉を用いてはどうか。         (所管部)検討する。         ・生涯学習という言葉が使われるようになり、30年が経過するというところである。現代の状況をより的確に表現できる言葉が他にあるのではないか。誰でも自由に学べることをイメージできるような計画の名称を考えてみてほしい。         (所管部)計画名の変更について検討する。     </li> </ul>
会議結果	一部修正のうえ、進めていく。